

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月6日

上場取引所 大

上場会社名 クルーズ株式会社

コード番号 2138 URL <http://crooz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営戦略担当執行役員 (氏名) 仲佐 義規

TEL 03(5786)7080

四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,252	26.9	351	△27.3	355	△26.5	205	△27.8
24年3月期第1四半期	1,774	70.9	483	108.9	483	108.8	284	115.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1,619.98	1,611.93
24年3月期第1四半期	2,251.13	2,173.92

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	3,586	2,466	68.6	—		
24年3月期	4,178	2,580	61.6	—		

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,461百万円 24年3月期 2,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	11,000	23.1	2,000	2.3	2,000	2.3	1,200	5.3	10,307.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却の方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	127,812 株	24年3月期	127,812 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	2,314 株	24年3月期	— 株
----------	---------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	126,952 株	24年3月期1Q	126,588 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間のインターネットビジネス市場は、モバイルインターネット領域が成長を加速し拡大を続けました。特に、当社が注力事業と位置づけているソーシャルゲームは、急速に市場を拡大し、その市場規模は、平成23年度に2,650億円と、ゲームソフト市場でトップの規模に成長しました。また、今後も市場の成長は継続し、2年以内に5,750億円を超える見込みです(注1)。また、スマートフォンの本格的な普及が進む中、モバイルインターネットの利用がさらに拡大すると見られ、モバイルインターネットビジネスの存在感は今後のインターネットビジネス市場においてますます高まるものと考えています。

そのような状況の中、当社におきましては、昨年度末にリリースしたオリジナルゲームタイトルである「新魔×継承!ラグナブレイク」がMobage上で登録会員数が70万人を突破し成長を続けました。当社が提供するコンテンツの平成24年6月末時点の合計会員数は、あわせて760万人(注2)を突破し、引き続きソーシャルゲーム業界を牽引するポジションを確立しています。また、当社ではユーザーの動向分析や効果検証といったPDCAサイクルを、人に依存せずに素早く実施できるようにするために、マーケティングデータベース「Compass」、開発高速化フレームワーク「Venus」、大量のトラフィックに柔軟に対応できるインフラ共通基盤「Zeus」、業務高速化システム「Chronometer」という4つの自社システムを保有しています。さらに、「新魔×継承!ラグナブレイク」を代表とする高品質オリジナルタイトルの提供及び、コンテンツ自体に魅力があり、ソーシャルゲームの醍醐味であるコミュニケーション要素の強い著作権を持つことで他社と差別化を行っています。今後は、「新魔×継承!ラグナブレイク」を欧米向けにローカライズした「Deity Wars」の配信を手始めに、ソーシャルゲームの海外でのさらなるリリースや、市場の拡大が予想される北米、東南アジアでのマーケティングを目的とした現地法人を設立し、ソーシャルゲームやその他ネットビジネスにおけるノウハウを蓄積していきます。

この結果、第1四半期における売上高は2,252,573千円(前年同四半期比26.9%増)、営業利益は351,909千円(前年同四半期比27.3%減)、経常利益は355,012千円(前年同四半期比26.5%減)、四半期純利益は205,659千円(前年同四半期比27.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、前第2四半期会計期間において、従来の「モバイルコンテンツ事業」、「モバイルコマース事業」及び「ソリューション事業」を、それぞれ「インターネットコンテンツ事業」、「インターネットコマース事業」及び「インターネットソリューション事業」に名称を変更しておりますが、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①インターネットコンテンツ事業(旧モバイルコンテンツ事業)

この結果、売上高は1,781,123千円(前年同四半期比37.6%増)、セグメント利益は277,929千円(前年同四半期比38.2%減)となりました。

②インターネットコマース事業(旧モバイルコマース事業)

この結果、売上高は388,814千円(前年同四半期比3.3%減)、セグメント利益は25,863千円(前年同四半期比-)となりました。

③インターネットソリューション事業(旧ソリューション事業)

この結果、売上高は82,636千円(前年同四半期比5.6%増)、セグメント利益は47,717千円(前年同四半期比22.7%増)となりました。

(注1) 一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム及び三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の調査を基に当社にて算出しております。

(注2) 会員数はCROOZ単体の数字のみを記載しており、閉鎖したタイトルや閉鎖予定のタイトルは会員数から既に除外しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、法人税、配当金の支払などによる現金及び預金の減少756,590千円、投資有価証券及び関係会社株式の取得に伴う投資その他の資産の増加136,585千円などにより、3,586,151千円(前事業年度比14.2%減)となり、前事業年度比591,873千円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、未払法人税等の減少473,546千円などにより、1,119,863千円(前事業年度比29.9%減)となり、前事業年度比477,797千円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払191,718千円及び四半期純利益の計上205,659千円による利益剰余金の増加13,941千円及び自己株式の増加126,471千円などにより、2,466,288千円(前事業年度比4.4%減)となり、前事業年度比114,076千円の減少となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に発表した業績予想と変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,442,369	1,685,778
売掛金	1,056,400	1,049,683
商品	32,489	30,947
その他	76,667	49,565
貸倒引当金	△4,359	△2,866
流動資産合計	3,603,568	2,813,109
固定資産		
有形固定資産	161,886	226,270
無形固定資産	29,249	26,865
投資その他の資産	383,321	519,906
固定資産合計	574,457	773,042
資産合計	4,178,025	3,586,151
負債の部		
流動負債		
買掛金	631,261	530,579
未払法人税等	570,904	97,358
賞与引当金	—	6,278
ポイント引当金	9,899	7,215
その他	385,594	478,431
流動負債合計	1,597,660	1,119,863
負債合計	1,597,660	1,119,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	423,203	423,203
資本剰余金	413,203	413,203
利益剰余金	1,738,445	1,752,386
自己株式	—	△126,471
株主資本合計	2,574,852	2,462,322
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	260	△1,210
評価・換算差額等合計	260	△1,210
新株予約権	5,252	5,177
純資産合計	2,580,365	2,466,288
負債純資産合計	4,178,025	3,586,151

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,774,806	2,252,573
売上原価	862,996	1,324,128
売上総利益	911,809	928,444
販売費及び一般管理費	428,248	576,934
営業利益	483,561	351,509
営業外収益		
業務受託手数料	—	3,228
その他	401	961
営業外収益合計	401	4,190
営業外費用		
自己株式取得費用	—	393
投資事業組合運用損	—	294
その他	670	—
営業外費用合計	670	687
経常利益	483,292	355,012
特別利益		
新株予約権戻入益	—	75
特別利益合計	—	75
特別損失		
和解金	—	20,000
特別損失合計	—	20,000
税引前四半期純利益	483,292	335,087
法人税、住民税及び事業税	173,231	94,279
法人税等調整額	25,094	35,148
法人税等合計	198,325	129,428
四半期純利益	284,966	205,659

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

当社は、平成24年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得を決議し、当第1四半期会計期間に126,471千円を取得しております。この結果、当第1四半期会計期間末における自己株式の残高は、126,471千円となっております。

(5) 重要な後発事象

自己株式の取得

当社は、平成24年6月29日開催の取締役会決議による、会社法第165条第3項の規程により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得を、下記のとおり実施いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の遂行のため

(2) 取得した株式の種類

当社普通株式

(3) 取得した株式の総数

12,620株

(4) 株式の取得価額の総額

762,248千円

(5) 取得日

平成24年7月2日

(6) 取得方法

大阪証券取引所のJ-NET市場における買付け